

「人の命は、地球よりも重い」。以前、そう言った日本の首相がいた。最近、人の健康と経済を天秤に掛けて論じられることがある。命は、何かと比較したり、天秤に掛けられるものではない。

水との分離が困難なトリチウムは、容易に体内の細胞に入り、DNAに放射線をあびせる。また母乳を通し、赤ちゃんにも残留する。細胞が傷つけられて起こる健康被害は、世界でも調査報告されている。カナダのピカリング原発では新生児死亡率・ダウン症・小児白血病が、北海道の泊原発では周辺町村のがん死亡率が増加した。

IAEAは「処理水の海洋放出による人や環境への影響は、無視できる程度」と報告した。傷つけられた命、人知れず消えていった命が、どれだけあれば「無視できない」レベルになるのかを問いたい。最後の一滴まで、そんな命の声は無視され続けるのだろうか。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階

Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時(受付は30分前)／土・日・祝日休診